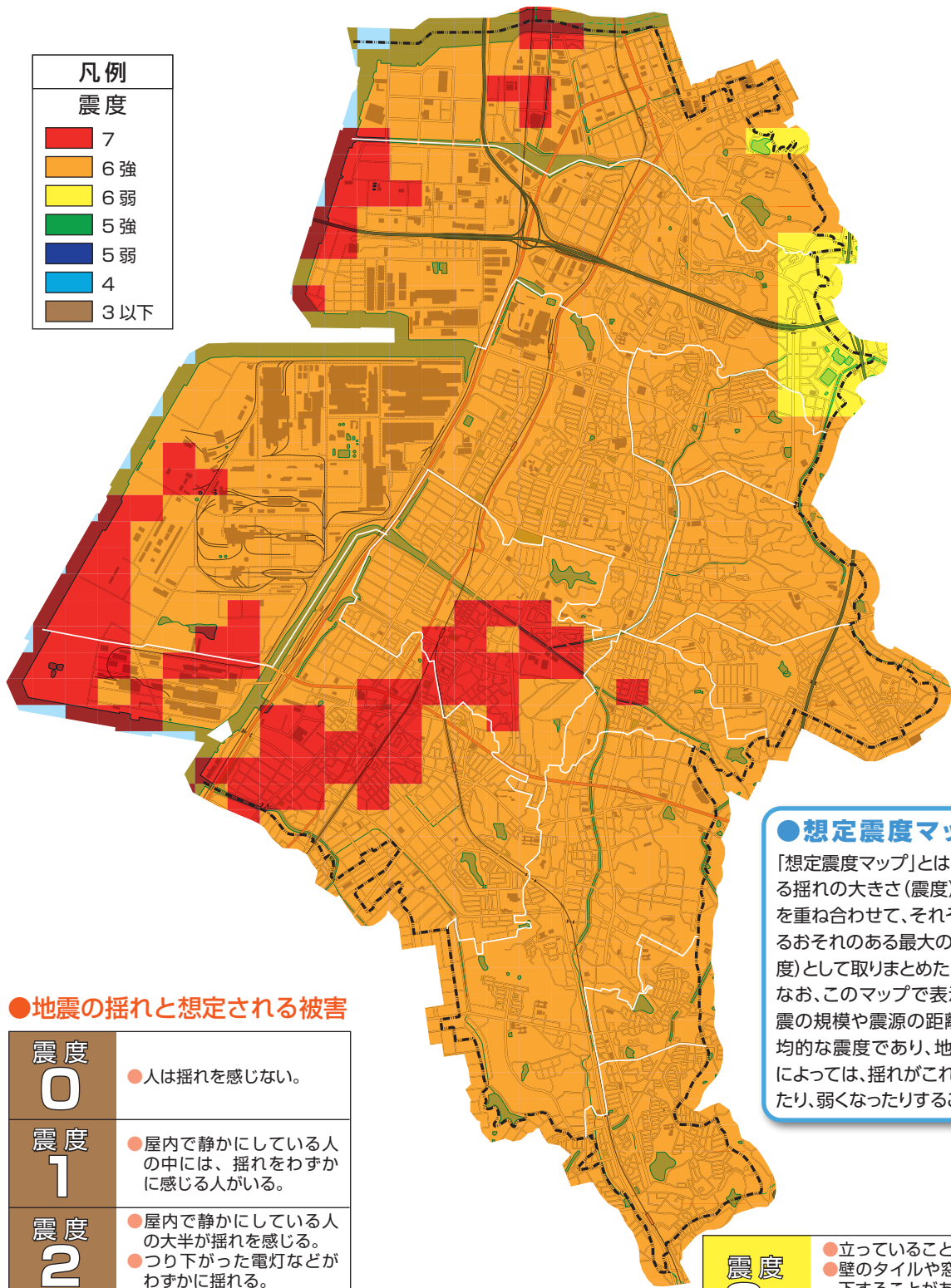


東海市全域想定震度マップ

凡例	
震度	
■	7
■	6強
■	6弱
■	5強
■	5弱
■	4
■	3以下



●想定震度マップとは
 「想定震度マップ」とは、想定地震に対する揺れの大きさ(震度)を評価し、これらを重ね合わせて、それぞれの地域で生じるおそれのある最大の揺れの大きさ(震度)として取りまとめたものです。
 なお、このマップで表示した震度は、地震の規模や震源の距離から予測した平均的な震度であり、地震の発生仕方によっては、揺れがこれよりも大きくなったり、弱くなったりすることがあります。

●地震の揺れと想定される被害

震度 0	●人は揺れを感じない。
震度 1	●屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。
震度 2	●屋内で静かにしている人の大半が揺れを感じる。 ●つり下がった電灯などがわずかに揺れる。
震度 3	●屋内にいる人のほとんどが揺れを感じる。 ●棚にある食器類が音を立てることがある。 ●電線が少し揺れる。
震度 4	●歩いている人のほとんどが揺れを感じる。 ●つり下げたある物は大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる。 ●車を運転していて、揺れに気づく人がいる。

震度 5弱	●棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。 ●まれに窓ガラスが割れて落ちることがある。 ●電柱が揺れているのがわかる。
震度 5強	●物につかまらなると歩くことが難しい。 ●固定していない家具が倒れることがある。 ●自動車の運転が困難になる。

(気象庁資料より)

震度 6弱	●立っていることが困難になる。 ●壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。 ●耐震性の低い木造住宅では、倒壊するものもある。
震度 6強	●はわないと動くことができない。 ●固定していない家具のほとんどが移動、倒れるものが増える。 ●耐震性の高い木造住宅でも、壁などにひび割れ・亀裂がみられることがある。
震度 7	●揺れにほんろうされる。 ●ほとんどの家具が移動し、飛ぶものもある。 ●耐震性の高い木造住宅でも、まれに傾くことがある。